

JAUW 茨城支部だより 2013 年度-3 号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2013 年 12 月 9 日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行



11 月末に福島を訪れ、原発事故の被災者の方がたと交流する機会がありました。双葉町の方からは「今、一番辛いのは住めないのなら住めない、別天地でみんな頑張ろう・・・とかのはっきりしたメッセージが欲しい。戻れそうなあまい言葉で引っ張られているのが一番辛い」とはっきりと云っていました。楡葉町の方は「家に戻る時、野生化した猪、ネズミが増え、脅威を感じる。ペットは助かり、牛はすべて安楽死。酪農家には申し訳ない。様々なおカネにまつわって人間関係も壊れる。治安も悪くなった。」

どれもこれも深く、重く、返す言葉も見つかりません。見えない放射線と見えない将来の中で、『天変地異には負けてない おれには知恵と意地がある』『荒れた田畑を見るのがつらい 土に生きたささくれの手』と歌を紹介しながら、「もう前向いていきますよ!」と話してくれました。

りんごもたわわに実り、安達太良山の上に青空が広がっていました。高村光太郎詩集の一節、「智恵子のほんとの空」を見上げる日が早く来るよう、私たちも前向いていきたいものです。

もう師走に入りましたが、支部便り今号では来年3月の定例会「MYWAY」の予告もあります。これからも一つ一つの行事を大切にしながら、会員との交流や研修を深めていきたいと考えております。ぜひ、皆様のご協力をお願い申し上げます。
(今高記)

平成26年 新年の研修会のお知らせ

日時 平成26年1月18日 (土) 11:00~14:00

場所 「水戸市末広老人福祉センターあじさい」

水戸市末広町2丁目3番13号

☎029-232-0021

* 「IFUW イスタンブール総会報告」 牧島 悠美子



* 祝舞清元「卯の花」

松本由美子(西川扇由)

解説

* 新年会 新春祝い弁当 会費 3,000 円

お返事は同封はがき FAX&メールで (12月21日必着)

活動報告

水戸市男女平等参画推進月間共済事業市民企画講座 よりよいパートナーシップをめざして
～若者のデートDVについて一緒に考えてみませんか～ 9月21日(土)

「デートDVの講座に参加して」

大学女性協会茨城支部主催 男女平等参画課共催による講座が、9月21日の午後、みと文化交流プラザで、～若者のデートDVについて一緒に考えてみませんか～との呼びかけで開催されました。

この講座は、最近もマスコミ報道があり、深刻な社会問題ともされている「デートDV」に関して、まさに時宜を得たテーマであり、大変勉強になりました。私にも25歳になる独身の娘がいます。ひとごとでなく、身につまされる思いで、お話を伺いました。早速、研修で伺った内容を娘に話したところ、「いろんな対応があるんだね」と、普段あまり親のいう事に耳を貸

さない娘も、珍しく真面目に聞いていました。思い当たる事があったのかもかもしれません。

年頃の娘がいる家庭においては、本当に知っておかなければならない話題でした。

「デートDV」については、まだまだ社会的には認識が低くすぎるのではないのでしょうか。今後は、もっと行政、教育現場、地域、職場そして家庭内においても、広く周知されていかなければいけないテーマだと痛感しています。私もできる限りこの問題の重大さについて、あらゆる機会を通じて、お話しして参りたいと思います。

(鈴木記)



高校生も交えて話し合う

学校(園)長連絡会での出前講座を開いて

9月の水戸市男女平等参画推進月間事業の一環として、わが大学女性協会茨城支部が「若者のデートDV」について講座を開きました。その際、教育現場での啓発が大事ではないかとの意見を踏まえ、10月に水戸市の教育長に相談に行ったところ、小・中学校の校長が一堂に会する連絡会で話し、現場での啓発活動の足がかりにしてはどうかとのアドバイスを頂きました。

そして、去る11月29日水戸市教育総合研究所会議室で、小・中学校長、園長55名他教育委員会10名が集う連絡協議会において「デートDVその現状と課題」と題して出前講座を開催させていただきました。二回に亘る事前打合せでの共通理解として、「デートDV予防の啓発」の必要性と取り組みについて強く訴えることにしました。また、今回の対象者を充分考慮し20分という時間的制約の中での講座であり、従来の出前講座のパワーポイントの内容を精査し、12枚のスライドにまとめて発表しました。今後の成果については未知数ですが、松本会員・牧野会員・井坂会員のご尽力で、20分という限られた時間内ですが、私どもの主張が良く伝わったのではないかと自負しています。

(加藤記)



「世界のつくばで他支部との交流とサイエンスを楽しむ」に参加して

地質標本館

つくばサイエンスツアーは、本部の方々と三々五々バスに乗り込み、言葉巧みなガイドさんのリードで先ず「地質標本館」(産業技術総合研究所地質調査総合センター)を見学しました。

エントランスを抜けると突然天井から沢山の棒が吊るされ、その先にライトが付けられていました。それは「日本列島周辺の震源の分布」を顕すものでした。地震大国と認識し3・11の被害を被った身としては、目に飛び込んできた震源の多さにショックをうけました。その後地質の褶曲のリアルな展示に驚いたり、館の内容が人生初の展示が多く十分に堪能し、地質館を後にしました。(幡谷記)

《地質標本館》



JAXA

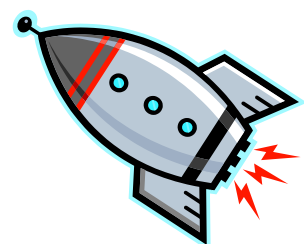
筑波に長く住みながら JAXA に足を踏み入れたことがなく、初めての見学でした。

さすが話題の場所、多くの見学者であふれていました。沢山のロケットの模型を見、宇宙実験室「きぼう」の実物大の模型の中に入りました。狭い実験室の中にコンパクトに収められた実験装置などを見ながら、この中での実験はなかなか大変だろうと実感しました。宇宙空間では風がないため、アルミ合金の紙状の外装はヒラヒラと頼りなげで、接着テープで留めるだけで十分との説明

に皆ビックリでした。宇宙食のお土産を楽しみにしていた会員も多くありましたが、時間がなく、購入できたのはごく一部の方だけで申し訳なく思いました。(牧島記)

《筑波嶺》

《JAXA》



予告

ご予約下さい！

3月定例会

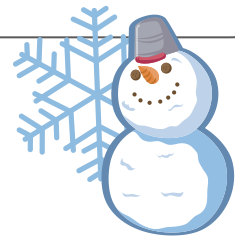
シリーズ企画「アーカイブス MY WAY」は第8回になります。
どうぞお楽しみに！！

日時 平成26年3月16日

場所 土浦方面を予定

内容 「MY WAY シリーズ」三澤晴子 会員

お返事は、同封はがき FAX &
メールで（12月21日必着）
詳細については、参加される方に
後日お知らせいたします



参加報告

JAUW 全国セミナー2013「男女共同参画社会の形成と教育」に参加して

私は、10月26日・27日に岡山市「ピュアリティまきび」で行われました JAUW 全国セミナーに参加して参りました。

今回のテーマは「男女共同参画社会の形成と教育」ということで、全国の地方議会議員への「女性の政治参加の実態調査」および、全国の高校生、大学生そして家庭科教員を対象とした「男女平等教育の現状と課題における調査」の中間発表がありました。後者については茨城支部会員で JAUW 教育委員会委員長でもある長田満江氏、そして私も発表をさせていただきました。この2つの調査研究いずれも最終的なまとめはこれからであり、提出される分析・考察が楽しみです。また、このような対象者に対して全国縦断的に調査ができるのは、JAUW の組織力があってこそだと思いました。

そして本セミナーでは、IFUW イスタンブール総会の報告があり、その中の全体報告が茨城支部会員、そして国際ネットワーク担当理事でもある城倉純子氏によって行われました。またイスタンブール総会では JAUW の会員によるワークショップが行われ、世界各国からの参加者との交流の様子が報告されていました。

他にも、2支部による報告、三船文彰氏のチェロ演奏とともに始まった交流会など、非常に充実した時間を過ごすことができました。

残念ながら1日目26日のみの参加になってしまいましたが、今回、国際的そして学術的な内容に触れ、また岡山の美味しいものもいただき、頭もおなかもとでも満足して帰途に就きました。
(中島記)



IFUW 第31回イスタンブール総会参加報告

イスタンブール中心街タクシム広場での混乱その他が報じられましたが、8月16日より21日までの5日間に亘る総会は無事終了しました。会場のカディール・ハス大学に参集した会員は、49か国から400人、そのうちJAUWからは23人、茨城支部からは牧島副会長と城倉が参加しました。第92回評議会(前日の8/15)には驚見理事が、第93回評議会(最終日の8/21)には、旦国際委員長がCIR代理として出席されました。評議会では、アフガニスタンの協会設立途上に関し、代表の方への激励があったとのことでした。今回のIFUW総会は、大きな岐路に立たされた会議となりました。

今回の特色は、今後のIFUWの方向性を決定する重要な2つの提案の採決があったこと、また、本会議の中でJAUW阿部会長が海外からの震災支援に対するお礼のメッセージを述べられ、さらに福島県出身のヘッグ・ホフェット奨学生菅野未知子さんによるプレゼンテーションがフロアを感動させ、いわば「ジャパン・デイ」と呼べる日があったことの2つにあったといえます。開催期間は、盛り沢山の内容が入っていました。

総会の議事は、提案1と2の採決・会長選挙・副会長及び委員長の承認(無投票につき)・12の決議案の採決・定款改正・その他、などでした。

提案1と2の採決に関しては、活発な討論が展開された後、新会長と3名の副会長によって提出されていた「提案1」に可決されました。JAUWは事前に各国協会(NFA)に送付されていた提案書と組織分析などの資料をもとに、参加者間での事前勉強会を持ち、提案2の支持で臨みました。提案1は、3名の副会長と財務理事から提出されたもので、赤字予算ではあるが、従来通りの事務局を強化、外部資金も呼び入れなどし、運営を促進するというものです。提案2は、会長と副会長一人による提案で、経費の削減で黒字予算とし、事務局を業務委託会社である”MCI”に委託し、執行部は趣旨運営に専念するというものです。MCI委託になれば本拠点はブラッセルになることや、事務局がバーチャル化されることなどへの懸念があり支持されなかったと思われました。

日本から参加したワークショップは、8月19日に日本とニュージーランドの共催で開催され、テーマは、成功女性の事例を検証しリーダーシップについて考えるというものでした。国際委員会の旦まゆみ委員長が司会進行を務め、JAUWからは、岡部佳世会員と廣田輝子会員が事例報告をしました。予め用意されたリーダーシップに関するアンケートをもとにグループ討論が持たれました。

見学研修では、私はイスタンブール市内にある裁判所の訪問に参加しました。裁判所は関連機関を内包した複合施設「コートハウス」と呼ばれる巨大な建物の中にありました。法律家協会会長から全体説明を受け、被害女性の法的支援をしている法律事務所でもお話を伺いました。その事務所には常時二人の弁護士が詰めており、DV被害者などに対処しているとのことでした。

新会長には、提案1を主張した前財務理事のキャサリン・ベルさん(南アフリカ)が就任しました。事務局長はダニエル・キャッスルさん(イギリス)で、提案1にありました通り、執行理事扱いとなり、事務局の強化が図られることとなります。

重要案件である**12の決議案**もすべて可決されました。決議の内容は会報に掲載されています。

トルコの隣国シリアからの9月現在での海外流出は200万人と伝えられていますが、トルコへは40万人が入ってきているそうで、ホームレス化が懸念されていました。アラブ諸国で石油が出ない国はエジプトとシリアだけですが、トルコは世界一ガソリン代が高いそうで、5トルコリラ/1L(250円)、その60~70%が税金だそうです。イスラム教では1日に5回のお祈りがありますが、トルコの3分の1は世俗主義者で、お祈りの時間も就業しているそうです。女性は、ラマダンの時だけモスクに行き、そのほかは家の中で祈ることが多いそうです。もともと保守的なまちである「コンヤ」市では、スカーフ着用などのイスラム教の習慣を強制し始めていました。政教分離により学校ではコーランを教えないので、子どもたちは夏休み中にモスクでコーランを学ぶのだそうです。トルコが親日であると知られていますが、ドイツとも仲がいいそうで、それは第二次大戦後、独がトルコの労働者を多く受け入れてくれたことによるそうです。



キャサリン・ベル会長



コートハウス



トルコ料理を満喫したり、参加者との楽しい交流は忘れがたい思い出となりました。なによりもイスラム圏を訪れ、現地の方々の息吹を感じられたことが大きかったです。「考えはグローバルに、行動は地域から」という表現がありますが、地域と世界は繋がっているということを実感した総会でした。
(城倉記)



<大学女性協会 2014年「新春のつどい」のお知らせ>

今年も筑波大学から社会福祉奨学生を含め2名の奨学生が選考されました。応援の意味でも皆様の参加をお待ちしております。若い方たちの新しい研究成果を是非聞きにおいで下さい。

日時 2014年1月11日(土)

会場 新宿 京王プラザホテル 南館4階「扇」

新宿区西新宿2-2-1 ☎3-3344-0111(代表)

プログラム 1部 2013年度 国内奨学金贈呈式

2部 懇親会

朗読 金子 あい

会食・懇談

*会報250号12面、および会報に同封のチラシをご覧ください。

編集後記

動物病院の前を通った。待合室は小児科と見紛うほどの混雑ぶりであった。「子育てって、大変そうだから犬を育ててま〜す。」というカップルがいるという。友人の中には飼い犬を実の息子の妹扱いしている者もいる。「あんたは、いつの間に犬の子を産んだのかい?」と言ったことがある。愛犬家の間では、「犬」とか「飼う」とか「えさ」という言葉は禁句らしい。犬は犬だ!

ドイツを旅した。犬も当たり前のように列車に乗り、広場のカフェでは飼い主と共にくつろいでいた。しかし、日本と違って人とペットの距離がうまく保たれている。第一、ドイツの犬は服を着ていない!

日本は不思議な国だ。これほどペットを溺愛しながら、殺処分数は世界でもワースト上位。構造的に児童虐待と似ている・・・こんなことをつぶやいているうちに今年も暮れようとしている。では、皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。
(目出鯛笑子)